

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 報告書

NO.7

委員会日	5/11/2020	開催時間	10時～
付議事項	1. 各種団体の影響調査(3回目)		
内 容	<p>■ 宇部管内食品衛生協会</p> <p>●パン組合の場合は、学校給食が全面的に止まっているということで、ある工場の売上げ自体が半分、50%落ち込んでいます。これは、学校給食会との兼ね合いで、3月については、一応、補償対象となったが、4月がまだ未定ということで、大変困窮している状態である。小売店もあるんですが、これも全体的に5%は落ち込みというか、極端な影響はないが、全体で見れば、20%から30%近く落ち込んでいるという現状である。</p> <p>●マスクや消毒液は使う量が多いので購入費がかさんでいる。</p> <p>●食肉関係は30%から50%落ち込んでいる。救済措置があればできるだけ早くやってもらいたい。</p> <p>●雇用助成金を申請しようと考えているが、手続きが煩雑である。</p> <p>●支援策は国、県、市とあるが、もっと簡素化してほしい。</p> <p>●飲食業は、テナントが多い。全て今お休みされておりますので、家賃の支払が滞ってしまうということで、直接的な支援が欲しいという要望があった。</p> <p>●宿泊事業、飲食業は、以前にもプレミアム商品券が発行されましたけど、結構効果があるということで、これも是非、再発行というかまた新たな試みでやっていただけないかという要望があった。</p> <p>●市税納付等の支払を延ばしてもらいたいという要望が各組合員からあった。</p> <p>●飲食店の9割方は多分、家賃について悩んでおられると思う。</p> <p>■ 山口東京理科大学</p> <p>●2月24日に新型コロナウイルス感染の疑いが発生した場合の対応についてということで学生に周知をした。内容は宇部健康福祉センターに相談するということと、マスク着用、咳エチケット、手洗い励行に励むようにということで注意喚起をした。</p> <p>●3月6日に中期試験を実施した。これにつきましては本学のみならず、福岡、岡山等々で8か所で行った。</p> <p>●4月7日には授業開始を4月20日に延期した。オンライン授業による講義のみ実施ということで発表した。</p> <p>●4月10日には不特定多数の人と接する可能性のあるアルバイトの自粛要請をした。</p>		

- 4月15日はまた、授業開始を5月11日に延期した。
- 4月16日には緊急事態宣言の対応として、5月6日までは校内入校の禁止、教員は在宅勤務、事務職員につきましては、日直制及び必要最小限の人員のみの勤務とした。事務職員は、テレワークを導入した。
- 4月30日にはメンタルヘルスへの対応ということで、公認心理士による電話やメール、状況に応じて、対面による相談というのも受け付けることを周知した。
- 4月30日には前期授業料の納入期限を通常は5月29日だが、それを6月30日、1か月延長した。
- 5月8日にオンライン授業の実施に伴う臨時奨学金の給付を決定した。インターネット回線や、Wi-Fiルーターなどの通信環境経費として、1人当たり3万円の給付を全員の学生についてするというにことにした。これは大学院生も含まれている。3万円掛ける在学生1,267人いるので、合わせて、3,800万円程度の給付となる。
- 教員は、本日現在107名、事務職員が41名。
- 事務職員の場合は1日に8名を超えないようにという形で、勤務シフトを組んだ。
- 入学式ではないが、一度大学に来ていただいて、顔合わせというかガイダンスというほどではないが、各々のモチベーションを保つという意味でもう一度大学に足を運んでいただき、そして、その後、2日間ぐらいにわたってちょっと小部屋に分けて説明をし、そして各地に帰っていったということです。
- 4月9日の段階で学期の変更をした。今までの前期後期という2学期制だったのを、前期をさらに、第1学期、第2学期に2分割して、第1学期は全てオンラインとした。
- 日本学生支援機構が作った家計急変型の給付奨学金を紹介するようにしている。
- 現在、海外におりまして入管が止まってしまったために入国できない留学生が4名ほどいる。彼らとは日々、連絡をとっており、今のところ海外から授業を受けるということができている。
- 就職活動で困った場合にはキャリアカウンセラーが大学におり、そこに相談できる体制をとっている。おかげで今のところ内定の取り消しはない。
- 現在学内に三つ学生食堂がある。それから売店が一つある。現在、本学のオンライン授業をするという状況を話し、三つのうち一つは営業してくださっている。もう一つが再開を今検討している。そのかわり大学としては、この4月は、実際ほとんど営業していないので、光熱水費とかはいただかない措置をしている。

■小野田商業開発株式会社

●今年の2月までは専門店の売上げ、レジ客数とも、対前年比100%をクリアしていた。3月に入り、特にファッション、飲食系の落ち込みが目立ってきた。3月の館全体の売上、レジ客数とも、対前年比で1割減、飲食系で売上げ、レジ客数は2割から3割減、ファッションで売上げ、レジ客数は2割から3割減となった。特に悪いのはサービス系、旅行代理店で、予約のほとんどがキャンセルになって、事前にもらったお金を返している。特に4月に入り、ファッションの売上は、対前年比で5割から7割減、レジ客数も、対前年比で5割から8割減、飲食系については1階のグルメストリート10店舗で、売上、レジ客数とも平均して6割減、2階のフードパーク13店舗あるが、こちらも売上、レジ客数とも6割減となっている。対前年比で100%を超えたテナントは2店舗で、手芸店とペットショップである。

●4月、館全体の売上は対前年比で4割減。金額で2億7,000万円減、レジ客数でも4割減、客数で12万人減、4月の臨時休業店はテナントで30店以上発生した。

●ゴールデンウィーク5月2日から6日の5日間、本館のテナント全て閉店したが、西館の14店舗、これは食料品、薬局、生活雑貨のみの営業となったため、売上は対前年比で約9割減、レジ客数は約8割減となった。

●5月の館全体の売上は、予想であるが、対前年比で5割前後になると予想している。

●4月に入り、多くのテナントから家賃減額の要請が来ているが、一応全て応諾をしている。

●山陽小野田市に対する要望としては、当社が支払っている固定資産税、土地を除く建物の減額をお願いしたい。

●終息した場合には、小野田サンパークの大催事場で、山陽小野田市が主導でもし開催する催事等があったときには、幾らかでも補助をいただきたい。

●飲食店の支援の検討をお願いしたい。

■保育協会

●要望は大きく3点で1点目、子供の命を守ることにに対して全力で取り組んでいくことを示す施策を示してください。2番が、保護者に対して行政から情報発信するようお願いをしたい。3点目、各園が対応のために、有形無形のコストをかけている。まだコストとして発生していないけれどもリスクが高い状態を受け入れざるを得ないということで、そちらのほうに何らかの補償をしていただきたいという3点である。

●保育園は当然のように11時間開いている。朝7時から夜7時ぐらいまでである。その中で三つの密が絶対に避けられない環境である。三つの密を避けるような新しい生活様式って言っているが、保育園は絶対無理である。

●登園の状況は、各園それぞれ状況が違うので、少ないところだと0から1桁っていうところもある。当園に限っていうと、今週に関しては50%ぐらいである。大体出席率は、1日、2日とか7日、8日は少し少なく、3割ぐらいまで落ちているが、これから先は50%から60%ぐらいの出席率になる。

●欠席があっても、収入面は変わらない。公定価格で収入は価格掛ける単価、出席園児数ではなく在籍園児数で、コロナがあろうがなかろうが席を置いてあるので、収入は100%入ってくる。支出に関しても人件費に関しては、今、うちの園では、特別休暇を職員に与えて休ませているが、100%給与を支払っている。前と変わりはない。ただ、追加で必要となったコストがかかっている。全体からすると微々たるものかもしれないが。園の利益的に行くとまあまあの金額になるというのが実態である。

●児童福祉法24条第1項に、保育をする実施責任は市町にあるっていうふうに明記されているので、その責任をちゃんととるっていうことは、立場上言わせていただきたい。

●消毒液の量が足りてるかどうかに関しては、この消毒をしないといけない期間がいつまでかによると思う。多分足りていないと思う。数箇月とか数年とかと言われたら絶対足りないし、今もう節約しながら使っていると思う。それから、手指に使ってはいけないものを使っている部分もあるんじゃないかと思う。

■生活と健康を守る会

●会員が約100名近くいる。

●アンケートを取り、新型コロナで一番困っているのは何かという質問に対して、3月、4月から仕事がなくなった。そして、新型コロナの感染者が同じ団地に住んでいるとのうわさが出て、客が来なくなった。また、福祉作業所に行っているが、部品が入ってこないため、仕事がなくなった。買い物に行けなくなった、との回答。

●マスクやアルコール消毒液はどうされているかという質問に対して、マスクは買い置きや手づくりで何とか対応できるが、アルコール消毒液が手に入らない。そして、糖尿病のインシュリン注射などに必要な滅菌ガーゼが手に入らない、との回答。

●仕事や勤務先が休業、休職で困っていないかという質問に対して、元請けの要請で、北海道に出張に行っているが、2週間現場に出られず、ホテルで缶詰状態。山口にも帰れず、今のところ、何の補償もない。救済の制度はあるのでしょうかということ。そして、子供が求職活動しているが、コロナの影響で出歩くことが不安である。仕事がなくなり、給料が入ってこないの、生活が苦しい、との回答。

●子供や孫の学校の休校で困ったことはとの質問に対して、4月から仕事がなく、娘夫婦が共働きなので、孫の子守のために、毎日、宇部まで通っている。もう一つが、休校中の食費のことや、教育の遅れのことなどが心配。子供の休学中の学力の低下が心配、との回答。

●給付金や持続化給付金に関して、この質問に対して、給付を早くしてほしい。5月中には欲しい。宇部市の娘の住む自治会では、独自に1世帯2,000円が支給された。そして、持続化給付金はオンライン申請になっているが、店主が年寄りでパソコンが使えない。携帯電話もガラ携なので、申請ができない。何とか援助できないか。もう一つが、持続化給付金をスマホで申請しようとしたが、なかなかうまくいかない。誰か援助してほしい、との回答。

●当座の生活資金でお困りのことはとの質問に対して、店に客が来ないため、収入がなくなり困っている。これは臨時やパートの方々である。光熱費、食費が増えて困っている。もう一つが、3年も主人の収入がなく、子供の支援で何とか生活をしてきたが、子供の仕事も大変で、今は本当に苦しい、との回答。

●発熱や味覚異常などで、病院への対応でお困りのことはとの質問に対して、外に出歩くことが不安だし、病院に来てはいけないと言われ、困っている。風邪なのか、熱があるが、37.5度以上4日間の目安があって、PCR検査が受けられない。手遅れにならないようPCR検査を受けたいのだが、何とかならないか。もう一つが、持病があるため病院に行かなくてはならないが、今、病院に行くことが不安である、との回答。

●山陽小野田市の市役所の各担当のホームページを印刷してきたが、コロナ対策で独自の市の施策というのは、実はほとんど載ってない。国から、あるいは県から下されている国や県の方針、それも具体的にあんまり載っていない。一体その市は何をしてるんだろうかっていうのを大変強く感じた。

●市が独自にやっぱりアルコール消毒液を確保して、市民に配布するような、そういう対策ができないんだろうかというふうに考えている。

●PCR検査のための検査センターを是非作ってほしい。

●市民病院の役割は何か。その位置づけが全くよく見えない。

●国保や税の軽減、猶予なり、その辺のところがちゃんと分かるように情報が市民のところに届くことが大事と思う。

●市民からの相談窓口が狭いんじゃないか。もっと積極的に市民の皆さんの声を吸い上げるような、あるいは問合せをできるような窓口を作るべきと思う。